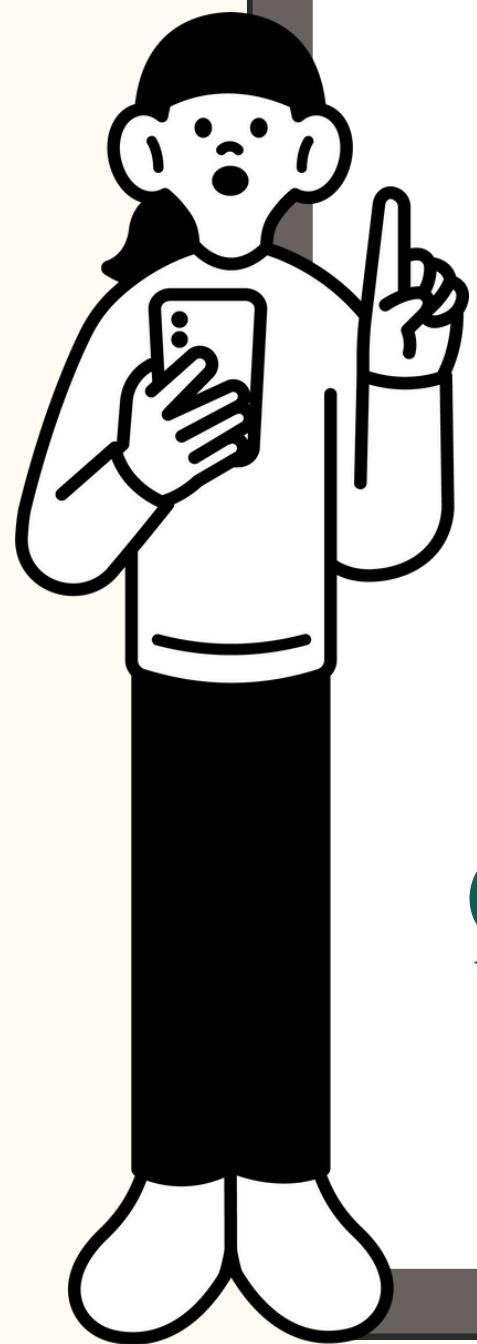




セキュリティ教育通信

2026年1月号

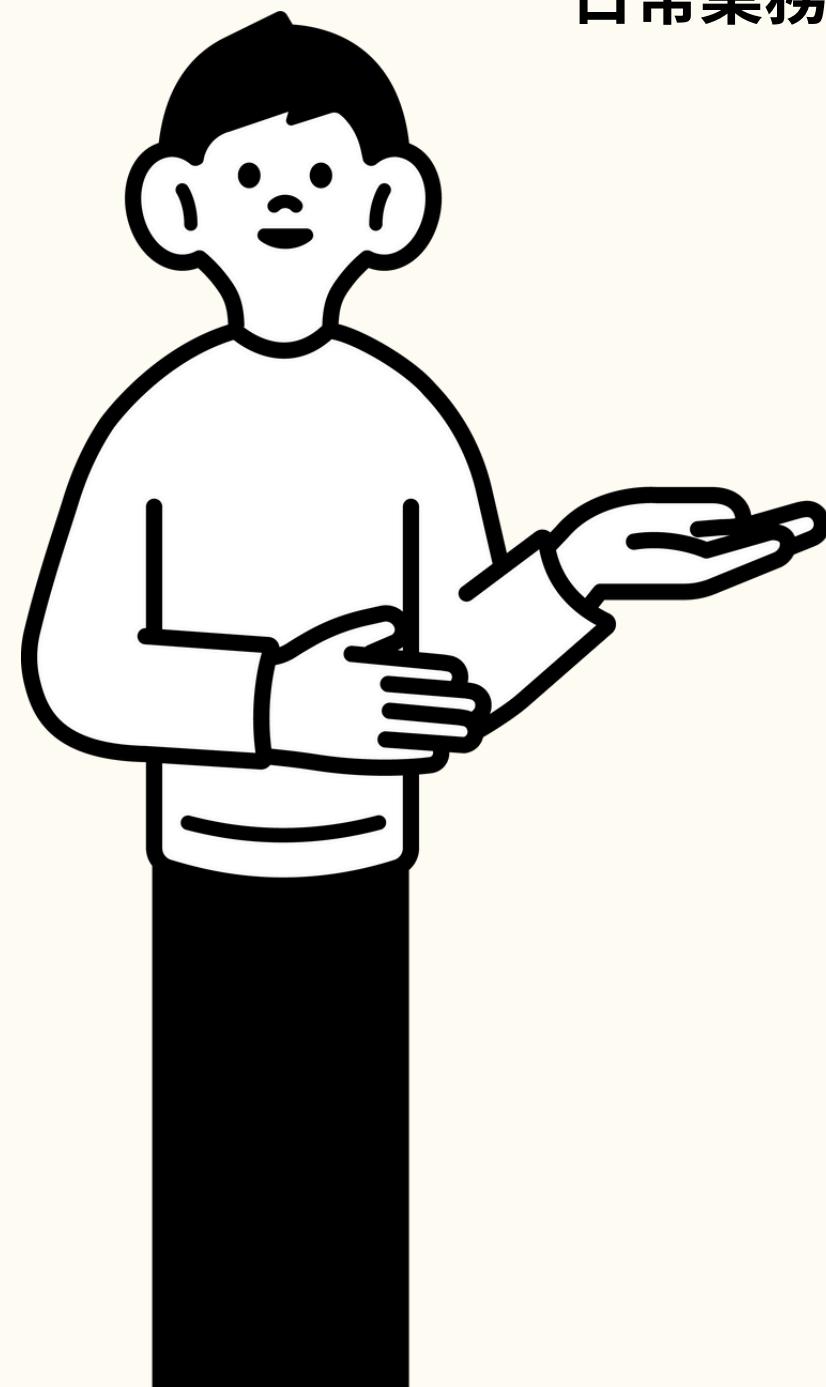
NTTドコモソリューションズ株式会社



2026年1月の セキュリティ教育テーマ

日常業務で起こりやすい3つのセキュリティリスクについて、シンプルにわかりやすく学んでいきます。

1つ1つのテーマで『なぜ危ないのか』『どう防ぐか』を具体的に紹介していきます。

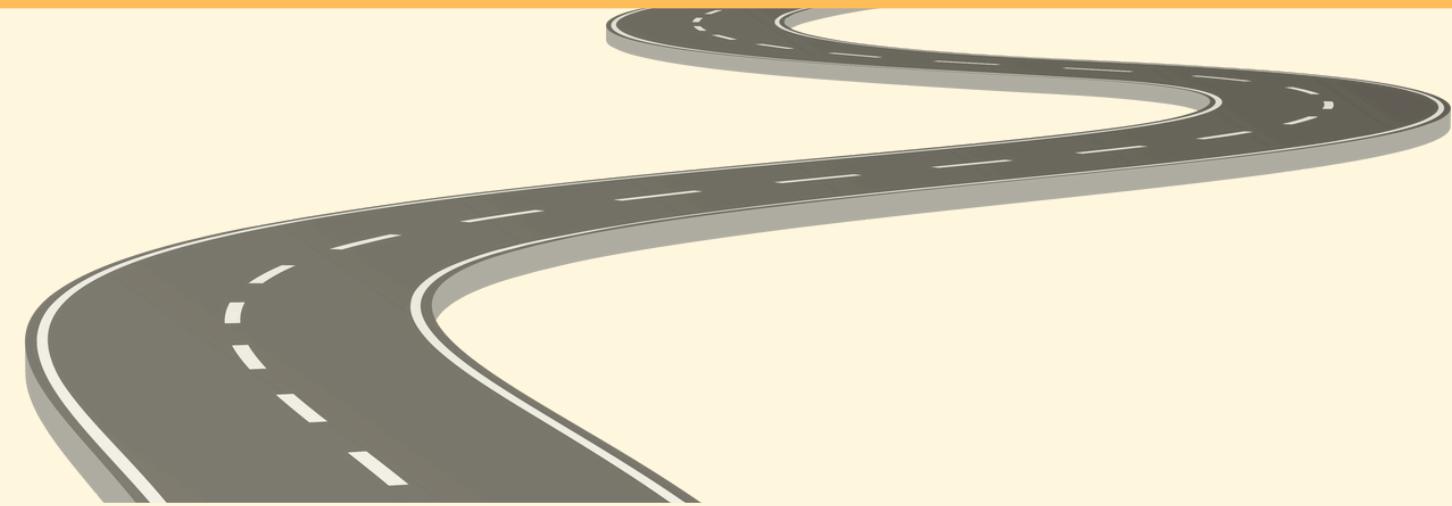


- 1** 基本対策 | Basic Countermeasures
車の運転、慣れた道ほど「危ない理由」

- 2** インターネットの脅威 | Online Threats
年賀状を装った“マルウェア”が出回る時期です

- 3** 季節・社会動向の注意点 | Seasonal Security
便利なSNSが、攻撃の入口になることがあります

1. 車の運転、慣れた道ほど「危ない理由」



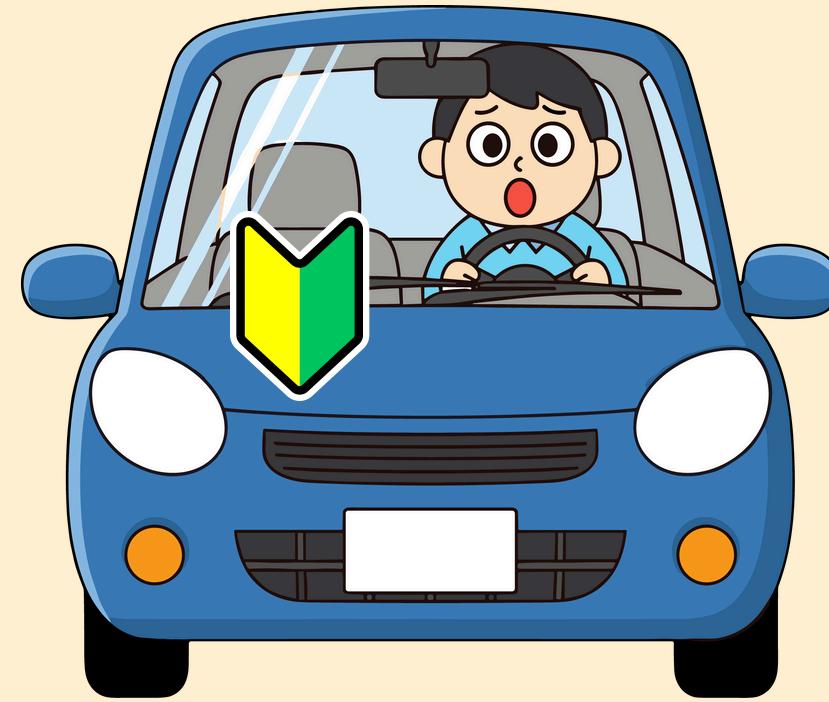
いつもの道、いつもの運転で、

ヒヤッとした経験はありませんか？

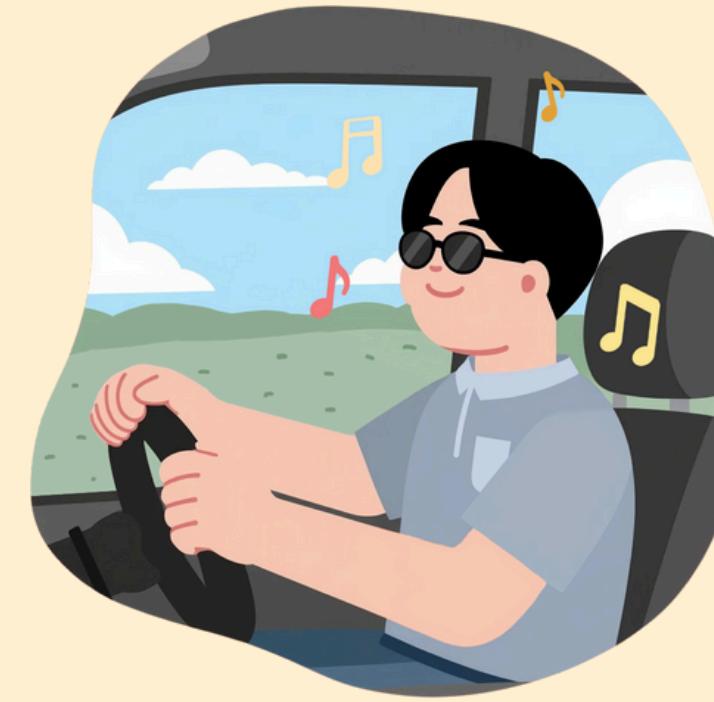


1. 車の運転、慣れた道ほど「危ない理由」

ヒヤッとするのは、慣れてきたときです。



慣れる前の、慎重な運転



慣れてきた、自然な運転

人は、慣れるほど意識せずに運転できるようになります。
その慣れが、ヒヤッとする瞬間につながります。

実は、セキュリティも同じなんです。

1. 車の運転、慣れた道ほど「危ない理由」

セキュリティも車の運転と同じ。



車の運転も、
一度教わって終わりではありません。

私たちは車の事故のニュースを見て、
「あ！自分も気をつけなくちゃ」と
何度も思い出しています。

ただ、時間が経つと
その意識は少しずつ薄れていきます。

セキュリティ教育は、ニュースと同じ役割を果たします。
毎回、「もう知っている」と感じる内容かもしれません。
しかし「知っている」と「意識できている」ことは別物です。
だからこそ、繰り返し思い出すことが大切なのです。

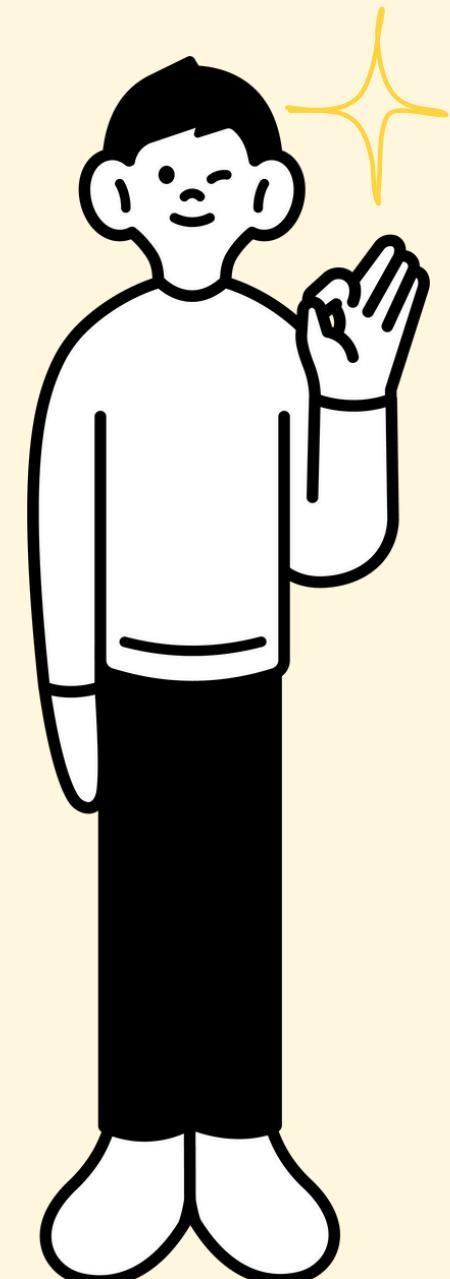
1. 車の運転、慣れた道ほど「危ない理由」

慣れた操作ほど、要注意。 確認してみましょう。

理解度チェック

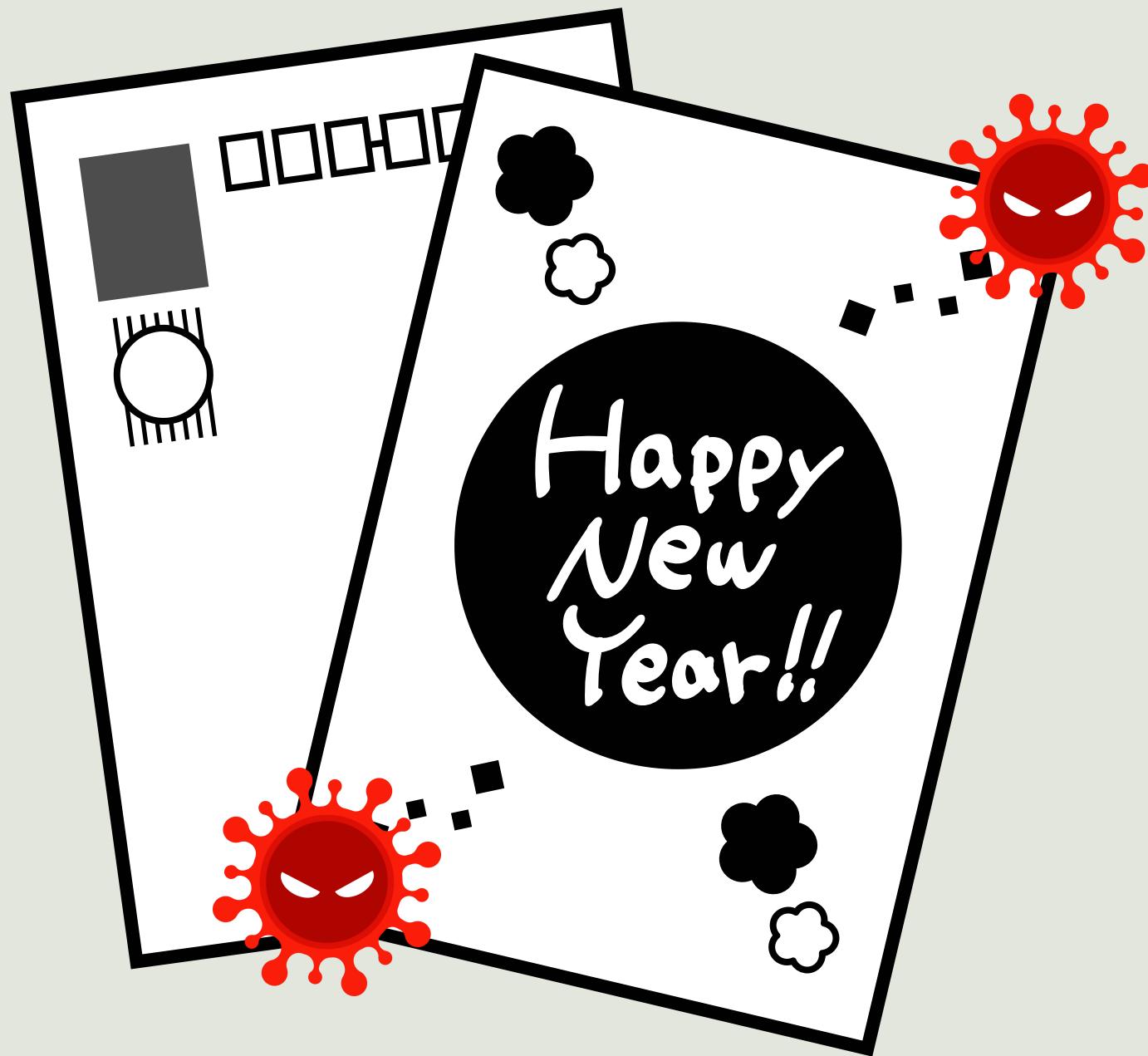
- 人は、何事においても慣れる生き物だ
- 慣れると、人は考えなくなることがある
- だから、定期的なセキュリティ教育で思い出すことが大切

小さな意識が、大きな事故を防ぎます。



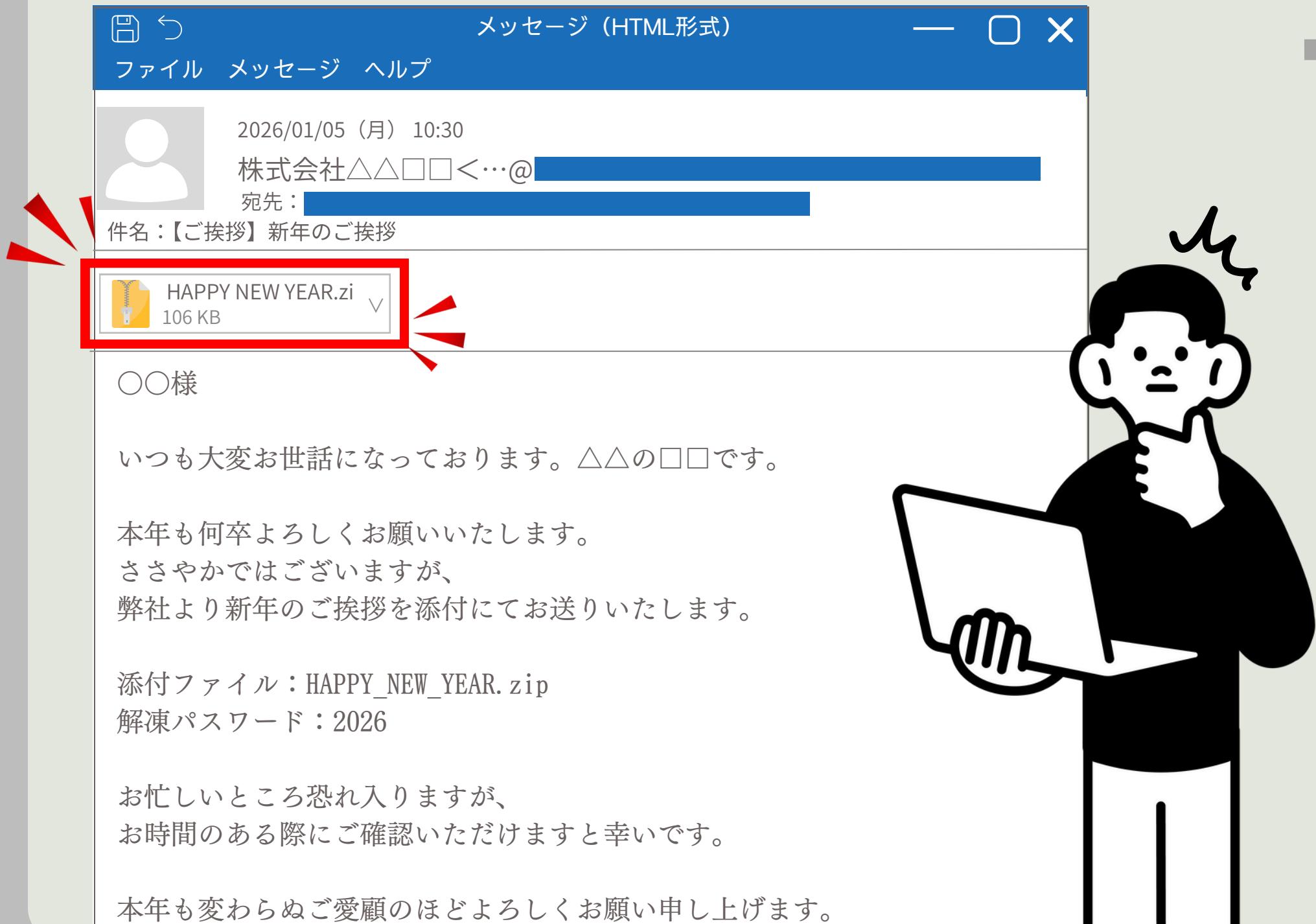
2. 年賀状を装った“マルウェア”が出回る時期です

年賀状を装ったリンクや添付ファイルが
“仕掛け”になる時期です。



2. 年賀状を装った“マルウェア”が出回る時期です

その添付ファイル、本当に“年賀状”ですか？



年末年始は、「いつもと違うメール」が増える時期です。

年賀状や新年の挨拶を装ったメールは、警戒心が下がりやすいタイミングを狙って送られます。

そのため、普段なら疑う場面でも、添付ファイルを開いてウイルスに感染してしまうことがあります。

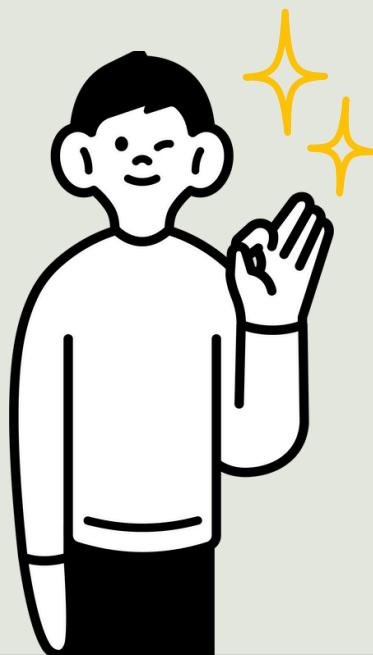
ATTENTION

- 「季節ネタ」ほど、一度立ち止まる
年賀状・挨拶・請求・お知らせ。
“それっぽい内容”ほど、冷静に確認する。
- 「添付ファイルは反射で開かない」
ZIP・PDF・画像ファイルでも、
送信元・文面・理由を必ず確認する。
- 迷ったら、相談する
返信せず、電話・社内ルール・管理部門に確認する。

2. 年賀状を装った“マルウェア”が出回る時期です

理解度チェック

- 「年賀状・挨拶」などの季節ネタほど警戒が必要だと認識できた
- 添付ファイルは、反射的に開かない意識を持てた
- 迷ったときは、自分で判断せず、相談することを心がける



日常のちょっとした意識が、大きな被害を防ぎます。
ひとり一人の意識を高めていきましょう。

3. 便利なSNSが、攻撃の入口になることがあります



**SNSの情報は、
攻撃の“材料”になります！**



3. 便利なSNSが、攻撃の入口になることがあります

攻撃者は、SNS情報から「なりすましの準備」をします。



便利なSNSが入口になる

SNSやWebサイトに掲載されている

- ・ 氏名
- ・ 役職
- ・ 部署 etc...

こうした情報をもとに、
上司や取引先を名乗って電話やメッセージが送られることがあります。

■ 対策・注意点

- ① SNSの情報は「社外の人からも見られている」前提で考える
- ② 名前・肩書きが一致しても、本人とは限らないので注意する
- ③ 業務指示は必ず本人確認の上、受け取る(至急!!などは要注意)
- ④ 迷つたら、一人で判断しない

3. 便利なSNSが、攻撃の入口になることがあります

今回の学びを確認しましょう！



理解度チェック

- SNSに掲載されている情報は、社外の人にも見られている前提で考える必要がある
- 攻撃者は、SNSの情報をもとに、上司・取引先・同僚になりますことがある
- 迷ったときに一人で判断しないことも、重要なセキュリティ対策のひとつである

今年も、忘れかけた頃に思い出すきっかけをお届けします！

本年も何卒、宜しくお願ひいたします。

